

MV-22 オスプレイ-米海兵隊の最新鋭の航空機- (2012年6月防衛省) (抜粋)

### 4. オスプレイの騒音

**質問** オスプレイが配備されると今よりも騒音がひどくなるのですか？

- ◎ MV-22の騒音は、CH-46よりも概ね低くなっています。
- ◎ 通常の運用において、MV-22は、CH-46と比較して極めて速く、高い高度を飛行することから、騒音の発生地点が地上から遠くなり、継続時間は短くなるため、その分騒音は低減します。

#### ■ 巡航時の騒音比較

(航空機の真下から測定)

高さ (フィート、 地上からの 高度)	騒音暴露レベル(dB(A))*				騒音最大値(dB(A))			
	MV-22		CH-46 110ノット	MV-22		CH-46		
	固定翼 モード (220ノット)	転換モード		固定翼 モード (220ノット)	転換モード	固定翼 モード (220ノット)	転換モード	
		ナセル角60度 (115ノット)	ナセル角80度 (80ノット)		ナセル角60度 (115ノット)	ナセル角80度 (80ノット)		
250	93	97	100	101	88	92	95	97
500	92	94	96	96	88	85	88	90
1000	88	90	92	94	81	79	81	86
1500	86	87	90	92	78	75	77	82
2000	84			89	74			78
2500	82			88	72			76
3000	81			87	70			74
3500	80			86	68			73
4000	79			85	67			72
4500	78			85	66			72
5000	77			84	64			69

固定翼モードでの飛行時、騒音はMV-22の方が低くなります。

転換モードでの飛行時、騒音はMV-22の方が低くなります。

MV-22の方が騒音が小さくなります。

(\*)騒音暴露レベルとは、一定時間の騒音のエネルギーを、1秒間に換算した値です。